

お金の EXPO2018 に協賛。資産形成層に向け、 『“運用で勝つ”ために知っておくべきリアルな現実』を講演しました。

アセットマネジメントOne 株式会社は、2018年11月18日に開催された株式会社マネーフォワード主催の『お金の EXPO2018』に協賛、講演を行いました。本 EXPO は自動家計簿・資産管理サービス「マネーフォワード(*)」ユーザーの皆さまを対象としたマネーフォワードが主催する最大規模のイベントであり、当日も約 2,000 名の方がご来場されました。

その中で当社は「“運用で勝つ”ために知っておくべきリアルな現実」と題し、相場を当てるような投機的な運用ではなく、将来のための資産形成として“運用で勝つ”ために、漠然と知っている知識を少し深掘りして考えてみようという趣旨で講演しました。アクティブファンドとインデックスファンドそれぞれの良さや、世界の GDP の推移と日米の個人金融資産の違いの相関について等、クイズも交えながらわかりやすく解説するなど投資初心者の方に寄り添う内容とし、250 名を超える多くの方にご来場いただきました。講演後にいただいたアンケートからも 88%の方から「満足した」との回答や、「運用を考える必要性がわかった」など、運用に向け一歩踏み出そうといったご意見を多くお寄せいただきました。

年金問題、消費増税、雇用の延長など、めまぐるしく変化する環境を前に、将来に向けた資産形成の重要性があらためて見直されています。これからも、AM-One ではこのようなイベント等を通じて「貯蓄から資産形成」へ向けて、投資啓蒙や投資家の育成・拡大に努めてまいります。



会場の様子。会場は盛況で、30～40 代の資産形成層の方が多くご参加されていました。

講師について：投資信託プロモーション第一部長伊藤雅子。投資信託や資産運用の講演歴約 15 年の豊富なキャリアを誇る。最新著書『マンガでわかる 必ず伝わる! 投信提案』は、投資信託の提案ノウハウをストーリーマンガ仕立てで楽しく分かりやすく学べ、投資信託販売員向けのバイブルとなっています。

『お金の EXPO2018』概要

<https://moneyforward.com/event/mf-expo/>

(*)自動家計簿・資産管理サービス「マネーフォワード」は、2018年11月27日より、「マネーフォワード ME」に名称を変更予定です。

以上

【投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項】

【投資信託に係るリスクと費用】

●投資信託に係るリスクについて

投資信託は、株式、債券および不動産投資信託証券（リート）などの値動きのある有価証券等（外貨建資産には為替リスクもあります。）に投資をしますので、市場環境、組入有価証券の発行者に係る信用状況等の変化により基準価額は変動します。このため、投資者の皆さまの投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆さまに帰属します。また、投資信託は預貯金とは異なります。

●投資信託に係る費用について [ご投資いただくお客さまには以下の費用をご負担いただきます。]

■ お客さまが直接的に負担する費用

購入時手数料：上限 3.78%（税込）

換金時手数料：換金の価額の水準等により変動する場合がありますため、あらかじめ上限の料率等を示すことができません。

信託財産留保額：上限 0.5%

■ お客さまが信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用（信託報酬）：上限 年率 2.6824%（税込）

※上記は基本的な料率の状況を示したものであり、成功報酬制を採用するファンドについては、成功報酬額の加算によってご負担いただく費用が上記の上限を超過する場合があります。成功報酬額は基準価額の水準等により変動するため、あらかじめ上限の額等を示すことができません。

■ その他費用・手数料：上記以外に保有期間等に応じてご負担いただく費用があります。投資信託説明書（交付目論見書）等でご確認ください。その他費用・手数料については定期的に見直されるものや売買条件等により異なるため、あらかじめ当該費用（上限額等を含む）を表示することはできません。※手数料等の合計額については、購入金額や保有期間等に応じて異なりますので、あらかじめ表示することはできません。※上記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率につきましては、アセットマネジメント One 株式会社が運用するすべての投資信託のうち、徴収するそれぞれの費用における最高の料率を記載しております。※投資信託は、個別の投資信託ごとに投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国が異なることから、リスクの内容や性質、費用が異なります。投資信託をお申し込みの際は、販売会社から投資信託説明書（交付目論見書）をあらかじめ、または同時にお渡ししますので、必ずお受け取りになり、内容をよくお読みいただきご確認のうえ、お客さまご自身が投資に関してご判断ください。

※税法が改正された場合等には、税込手数料等が変更となることがあります。

【ご注意事項】

- 当資料は、アセットマネジメント One 株式会社が作成したものです。
- 当資料は、情報提供を目的とするものであり、投資家に対する投資勧誘を目的とするものではありません。
- 当資料は、アセットマネジメント One 株式会社が信頼できると判断したデータにより作成しておりますが、その内容の完全性、正確性について、同社が保証するものではありません。また掲載データは過去の実績であり、将来の運用成果を保証するものではありません。
- 当資料における内容は作成時点（2018年11月22日）のものであり、今後予告なく変更される場合があります。
- 投資信託は、
 1. 預金等や保険契約ではありません。また、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。加えて、証券会社を通して購入していない場合には投資者保護基金の対象ではありません。
 2. 購入金額について元本保証および利回り保証のいずれもありません。
 3. 投資した資産の価値が減少して購入金額を下回る場合がありますが、これによる損失は購入者が負担することとなります。

【アセットマネジメント One について】

アセットマネジメント One 株式会社は、DIAMアセットマネジメント株式会社、みずほ信託銀行株式会社の資産運用部門、みずほ投信投資顧問株式会社及び新光投信株式会社（以下、総称して「統合4社」）が統合し、2016年10月1日に発足した資産運用会社です。「投資顧問事業」と「投資信託事業」の双方の事業領域における運用資産残高はアジアトップクラスの規模を誇ります。

統合4社が長年にわたって培ってきた資産運用に係わる英知を結集し、資産運用のプロフェッショナルとして、グローバル運用リサーチ体制に支えられた伝統的資産のアクティブ運用や金融工学を駆使した最先端の運用戦略等、個人投資家や機関投資家の多様な運用ニーズに対し、最高水準のソリューションの提供をめざします。

HP：<http://www.am-one.co.jp/>



商号等／アセットマネジメント One 株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第 324 号

加入協会／一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会